

平成26年度 妙高市算数部 活動報告

部長 石田 浩久

1 研究主題

「みんなで創る楽しい算数・数学～思考力・判断力・表現力の育成～」

2 研究の概要

妙高市教育研究会算数・数学部は、小・中・特別支援学校の教職員25人で構成され、年3回の活動を行っている。昨年度は、言語活動の充実という視点から授業を見直し、学力向上に結び付けることを目的に取り組んだ。今年度は、さらに「思考力・判断力・表現力を発揮する場の保証」と「算数・数学を創られるものの保証」という視点から研究主題を見直し、研究に取り組んだ。

まず、研究主題の意義を確認し合い、深め合うための研修を行い、意見交流を図った。その後、各自で実践を積み重ねるとともに公開授業研究会を通して研究を進めた。

3 研究の実際

(1) 講演会の開催

- ①日 時：8月21日（木）14：40～15：30
- ②会 場：新井総合コミュニティセンター大会議室
- ③講 師：上越教育大学 教授 布川和彦 様
- ④演 題：
「算数・数学的活動と思考力・判断力・表現力の育成」
- ⑤概 要：



研究主題について、具体的な実践例を取り上げながら意義付けをしていただき、今後の授業づくりが焦点化される内容であった。子どもたちの思考・判断・表現を発揮させる場を設定すること、創られたものを生かしながら授業を展開すること、子どもたちが考えを生み出しやすくするための手立てを工夫すること、など大事な視点を指導していただいた。

(2) 公開授業研究会の開催

- ①日 時：11月11日（火）13：45～16：30
- ②会 場：妙高市立妙高高原中学校
- ③指導者：妙高市教育委員会 指導主事 遠藤和英 様
- ④授業者：Aクラス 若月美里教諭、山崎智恵子教育補助員
Bクラス 佐藤正実教諭、岡田明教諭
- ⑤内 容：2年数学「三角形・四角形」*少人数2クラス公開
- ⑥概 要：



小学校で学んだ図形の性質を演繹的に証明する必要性やよさを知るために、オープンアプローチによる学習が展開された。理由や根拠を班で交流し合い、互いに疑問を共有したり、意欲的に解決したりしようとする姿が見られた。協議会では、オープンアプローチで育成できる算数・数学の力、本時の課題のよさ、対話のある授業展開、授業展開のコツ、小・中の移行期の指導の在り方などについて意見交換がなされた。

4 成果と課題

揺れ動いている子どもの姿を見逃さず、子どもたちの相互作用を生かしながら、算数・数学の本質に迫るような授業を実現するために、教材研究を深め、授業力を磨くことが重要であることが共有された。今後、子どもたちが夢中になって算数を使いたくなるような課題提示、多様な考えを生み出すための手立ての工夫、思考・判断・表現を自分たちでもよいという学級文化の醸成に取り組んでいく。